

1年間の振り返りと起業に向けて

こんにちは。協力隊2年目の大友です。昨年冬はとにかく雪が多く、会津の洗礼を受けました。今年の雪はどうなるでしょうか。雪景色の美しさも格別ですが、できれば少し穏やかな冬になってほしいものです。

会津美里町での暮らしにも少しずつ慣れ、今年はさまざまなことに挑戦する一年となりました。修行先の流紋焼では、ろくろで湯呑みや納豆鉢、抹茶椀などをつくらせていただきました。さらに、会津若松市のお茶の先生との作品づくりや、猪苗代湖の泥を使ったコラボ作品などにも取り組みました。

来年度は協力隊としての最終年。移住当初からの目標である“陶芸家としての独立”を目指して、走り切りたいと思います。



▲ろくろで挽いた湯呑み

協力隊工房の設立

「会津美里町で陶芸に関わる人を増やしたい」という思いから、本郷瀬戸町通りにある「コバコ」横の元豆腐屋さんを活用し、協力隊の陶芸工房をつくることにしました。改修を進めながら、来年度から少しずつ使える場所にしていける予定です。

この工房は本郷焼の協力隊だけでなく、町の皆さんにも気軽に立ち寄っていただける場所にしたいと考えています。来年度以降、各種イベントや陶芸体験なども企画していきますので、完成の際にはぜひ遊びに来てください。



▲工房となる予定の建物外観



▲個人アカウント

ふるさと納税のリブランディング



▲会津本郷焼ふるさと納税ビフォーアフター

会津本郷焼をもっと多くの方に知っていただき、町の魅力を広く発信したいという思いから、ふるさと納税の返礼品の見直しを行いました。既存の商品を再選定し、写真や紹介文を新しくして掲載し直しています。

せっかく会津美里町には素晴らしい焼き物があるのに、全国的な知名度がまだ高くないことを残念に感じていました。そこで、現代の暮らしに合う商品を各窯元さんと相談しながら選び、写真もより魅力が伝わるよう工夫しました。その結果、掲載からわずか2か月で、これまでで最も寄付件数が多かった年の2倍を記録することができました。

これからも多くの方に会津本郷焼を知っていただけるよう、丁寧に発信を続けながら、全国へその魅力を届ける挑戦をしていきます。



▲リブランディングした本郷焼の器たち

今月の協力隊



おおとも さとる
大友 悟

千葉県八街市出身。
2024年に大阪から地域おこし協力隊として会津美里町に移住。前職は化学メーカーで塗料の研究職に従事。塗料と陶芸の共通点に惹かれ、陶芸家を目指して活動中。